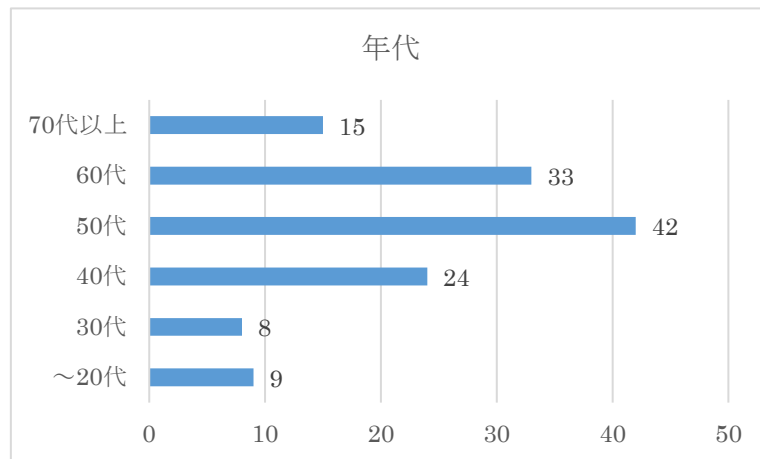
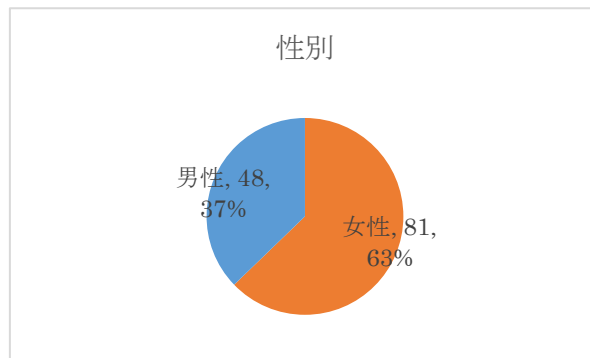


第5回認知症医療介護推進フォーラム アンケート結果

1. アンケート回答者数：132名

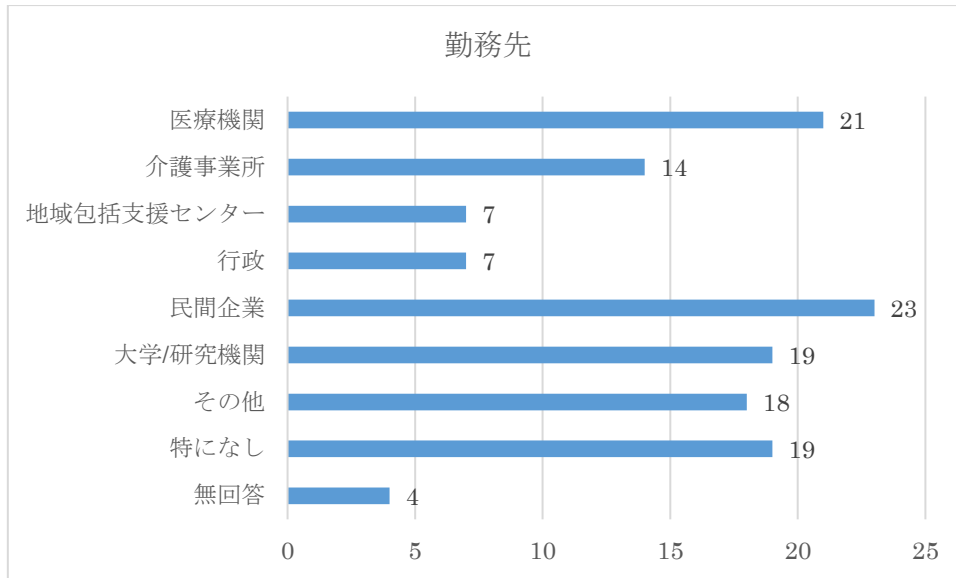
2. 回答者の性別、年齢構成（数字は人数）



* 性別の無回答を除く129名、年齢層の無回答を除く131名

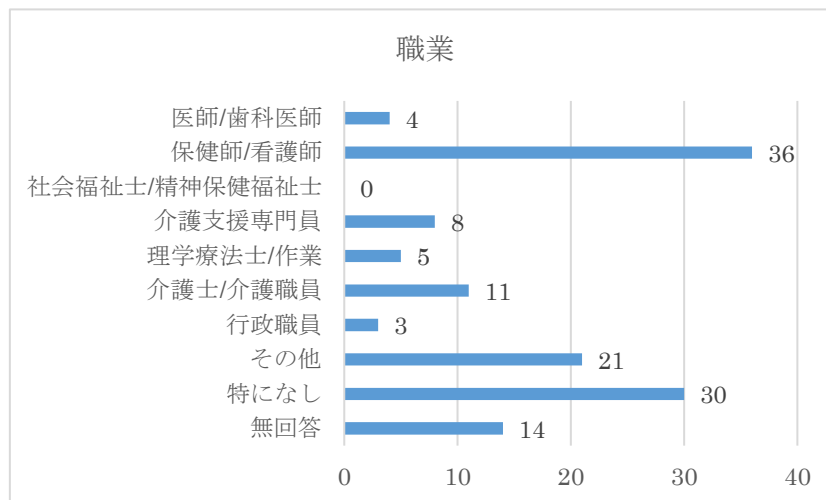
- 男性48名（37.2%）、女性は81名（62.8%）、無回答（2.3%）と、女性が約3分の2を占めた。
- 年齢層は、50代（32.1%）と60代（25.2%）が半数以上を占めた。

3. 勤務先



- 「民間企業」が最も多く 17.4%、次いで「医療機関」（15.9%）、「大学/研究機関」（14.4%）「特になし」（14.4%）が続いた。

4. 職業

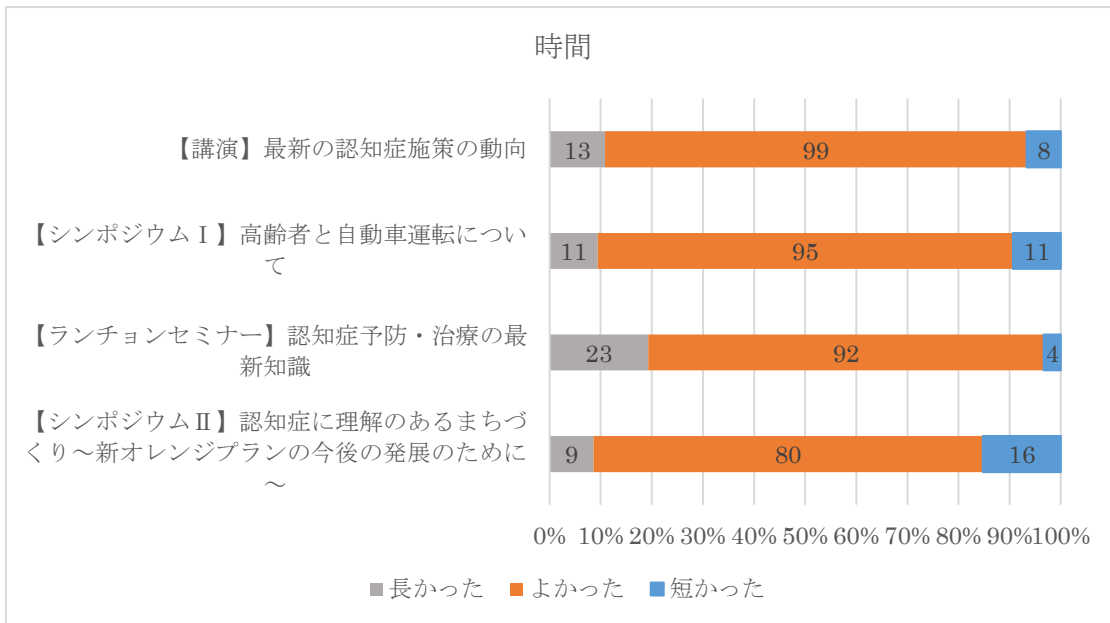


*アンケート回答者（132名）を100%とした場合の割合。

「その他」と回答した者の職業：管理栄養士、教員、薬剤師、言語聴覚士、ヘルパー2級、公務員、生活支援コーディネーター、会社役員、介護ヘルパー、認知症ケア上級専門士、金融機関、建築士、教育関係、会社員（生命保険会社）、一級建築士、ライター、会社員

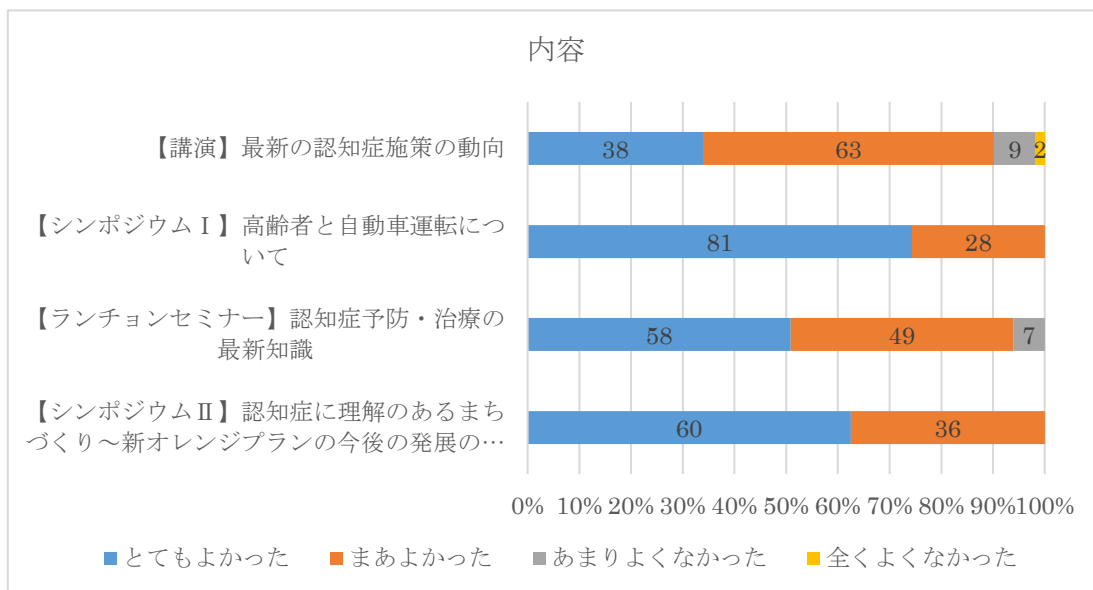
- 最も多かったのは「保健師/看護師」（27.3%）であった。

5. プログラムの時間配分について



- どのプログラムにおいても「よかった」という回答が最も多かった。

6. プログラムの内容について



- 全体的に「とてもよかった」「まあよかった」が多かった。

7. シンポジウムの知ったきっかけ

長寿の HP : 23 名、杉浦記念財団の HP : 13 名、その他の HP : 8 名、

チラシ・ポスター : 8 名、新聞広告 : 29 名、職場等からの紹介 : 32 名、その他 : 22 名

8. 日頃認知症の人のケア／支援に関わっているか

	人数	割合
1. はい	92	69.7%
2. いいえ	34	25.8%
無回答	6	4.5%
計	132	100.0%

- 日頃認知症の人のケア／支援にかかわっている人が全体の約 7 割を占めた。

【参加者からの意見・感想】

- ・ 全て興味深い内容で刺激を受けました。
- ・ 私も 85 才のドライバーなので帰宅したら知人等と話したいと思う。
- ・ 午後のシンポジウムで樋口様の声は私自身心に響きました「人災」という言葉は衝撃でした。
- ・ 難しいお話もありましたが、今日様々なことを考えるきっかけとなりました。
- ・ 日頃の課題に答えてくれる内容でとても役立ちました。特に運転についてのトピックはとてもタイムリーでした。
- ・ 当事者の方のお話、高齢者の運転のお話はすごくよかったです。
- ・ 現状や制度が分かりやすくよかったです。支援の参考になる内容でした。
- ・ もう少し技術等の資料が欲しい。
- ・ 車の運転については本人と家族、支援する側の思いが違い、実際に対応することがとても難しいと感じている。代替案が一つでも増えるように働きかけていきたい。
- ・ 地域づくりはもう少しポイントを絞った方が良かったと思います。
- ・ 初めて参加しましたが専門家の考えが学べて良かった。
- ・ 自動車運転について行政、本人、自動車をつくる三者の立場の思いが聞いて良かった。シンポジウムⅡの堀部先生のシンポジウムが今まで聞いた海外の取り組みを紹介したものと全く違う内容だったので良かったです。
- ・ 医療関係者の話も興味深かったですが警察庁、企業の方から多職種の講演から認知症は支えられていることがわかりました。
- ・ 現在、問題視されている問題（運転 etc）や現在の業務（小規模）に関する点があり良かったと思う。
- ・ 色々な先生方、当事者の方の話を聞いて良かった。
- ・ 認知症に対して偏見のない対等な関係、頭では理解しているがなかなか難しいと感じました。
- ・ 今、世間で話題となっている問題から、治療や施策等の専門的な内容まで幅広く話を聞けることができとても良かったと思う。本日のプログラム構成こそ、公助・共助・自助の連携が重要な認知症に関するあるべき姿なのかなと思った。
- ・ 樋口直美さんのお話を聞いて私も認知症と診断された母とこれから向き合っていくことのとても参考になりました。さくらコミュニティアサービスのようなワーキングデイがもっと全国に増えてほしい（私の実家の近くにもあったらなあ）と思いました。
- ・ 樋口さんのお話し大変考えさせられました。認知症の方へのかかわり方、仕組みづくりに取り組む時は改めて気を付けなくてはと反省しました。
- ・ 各々の分野で活動中の専門の方々のお話を聞くことができとても勉強になりました。おいしいお弁当までいただきながらランチセミナーもリッチな時間でした。有難うございました。

- ・ 全体として内容も豊富で大変参考になった。
- ・ とても盛りだくさんで大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 時間（私事都合）の関係でシンポジウム I までしか聴講できませんでしたが、同シンポジウムは官学バランスのとれたプログラムで非常に有意義な問答でした。
- ・ 現実的な内容の含まれたプログラムで参考になりました。
- ・ 午後の講演良かったのですが、早すぎてもう少し時間が欲しかった。
- ・ 認知症気付きは医療より介護者の方が先に気付きます。医療者のいい加減な判断に多々対面します。
- ・ 中核市自治体で認知症施策を担当しています。とてもよい学びになりました。業務の次年度の方向性に活かしたいと思います。
- ・ 何という明確な答えが出た訳ではないけれど、様々な角度からの話を聴くことができ良かった。目指すことは一つで合わせたら一つの目的と思っていたが、それぞれの角度からの取組み、それぞれの役割があるようにも思った。
- ・ 時代のニーズに合ったテーマでありとても勉強になりました。しかし、まだまだこれでよかったのかな？と悩むことが多いです。
- ・ グラフの字が小さくて見えない、もう少し大きくして欲しい。
- ・ 早口で聞き取りにくいことがあった。
- ・ 地域に戻り、認知症の人に少しはかかわっていけそうな気がします。

など

以上